

令和6年9月18日 佐藤

～ 地下にある「診療所」にも潜入取材！大相撲の魅力を子どもたちの目線で発信！ ～ すみだ子どもPR大使が「両国国技館の裏側」を探検するツアーを敢行！

9月16日(月・祝)に、すみだ子どもPR大使10名が、区と公益財団法人日本相撲協会との包括協定の取り組みの一環で、両国国技館(墨田区横網1-3-28)の裏側を探検する取材を行いました。

まずは、熊ヶ谷親方と千賀ノ浦親方から、相撲についてクイズ形式で学習。力士の無事を祈るため、土俵の下には塩や昆布、するめなどが埋められていることなどを学びました。次に、親方2人にインタビューを敢行。「お相撲さんは一日に何回食事をするのですか?」「親方の仕事のやりがいは何ですか?」など、子どもたちそれぞれの観点から質問を行いました。

その後は、力士やその家族などが通う相撲診療所を取材。体が大きい力士でも測ることができる身長計や体重計、ベッド、車いすなど、規格外の大きさに驚く様子が印象的でした。

昼には、力士の力の源である「ちゃんこ」と国技館の名物である「焼き鳥」を試食。二本足で立つ鳥が縁起の良いものとされているため、提供されているという豆知識も学びました。

その後訪れた「相撲博物館」では、海外に相撲を広める活動を行ってきた「常陸山」の展示を見学。色鮮やかな化粧まわしや着物など、古くからの文化をしっかりと残す相撲にさらに興味をもった様子。

最後に大相撲の取組の見学を行い、一日の締めくくりに「わたしの国技館おすすめスポット」として、それぞれが絵日記形式で国技館の見どころを紹介しました。(9/17に日本相撲協会公式Xにて掲載)

全ての行程を終えた子どもたちからは「迫力があって、海外の人たちにも大人気!相撲の魅力は『力』!みんな力いっぱい戦っているのがかっこいい!」「土俵は360度から見ることができ、迫力がある」などの感想を聞かせてくれました。今後も「相撲のまちすみだ」をPRしていきます。

今後も、9月28日に開催される「すみだものづくりフェア2024」オープニングセレモニーでの登壇や、10月5日・6日に開催される「すみだまつり・こどもまつり」では、区の次期基本計画の策定に向けた区民向けアンケートの調査員としての活動など、区の魅力をPRする予定ですので、ご注目ください。

《写真》当日の様子(9/16撮影) Facebook投稿: <https://www.facebook.com/share/p/ADPuBi1NBFyKkmZi/?>

親方へのインタビューの様子

相撲博物館見学の様子

取組見学の様子



《参考》「すみだ子どもPR大使」

すみだの魅力を幅広く発信する特命大使で、毎年4月に実施するワークショップ修了後、区長から「すみだ子どもPR大使」に任命され、1年を通して区内のイベントなどに参加し、子どもならではの視点で区の魅力を発信する。

概要: <https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/kouhoukatudou/kodomo-pr-taisi/gaiyou.html>

対象: 区内在住の小学3年生～6年生(令和6年度任期: 令和7年3月末まで)

人数: 21名(6期生: 11名、7期生: 10名)

《問合せ》企画経営室 広報広聴担当 03-5608-6220

お問合せは、午後5時までをお願いします。